

西高通信



Vol.40

旭川西高東京同窓会HP

「継続」再び

～ to be continued ～



発行 旭川西高東京同窓会
事務局 〒131-0033
東京都墨田区向島
3-17-2-603 中井気付
HP <http://www.anktd.com>



実施要項

第42回旭川西高東京同窓会
2025年(令和7年)10月4日(土)

●時間 12:30～14:30(受付12:00)

●会場 上野精養軒
東京都台東区上野公園4番58号
TEL:03-3821-2181

●会費 一般会員 9,000円
20～30歳代(55～74期) 5,000円
20歳未満・現役学生 無料
※別途年会費1,000円を徴収

アクセス
JR上野駅……………公園口より徒歩5分
京成上野駅……………正面口より徒歩5分
メトロ上野駅……………7番口より徒歩5分
都営上野御徒町駅……………A3出口より徒歩8分

第42回旭川西高東京同窓会開催にあたって

第42回旭川西高東京同窓会 実行委員長 **近藤光則**
(26期)



今回の総会は「継続 再び to be continued」というテーマで実施させていただきます。私たち26期が池袋の「東京メトロポリタンホテル」で実行期として第27回総会を開催させて頂いてから16年の年月があったという間に経ってしまいました。この時のテーマ「to be continued」「継続」をそのまま引き継ぎ「再び」を入れて、本会が継続して行

われている事への「感謝」や「感動」を込め、多くの同窓生の皆様が「参加して楽しかった!」というようになれるよう、今回も様々な企画や恩師の先生方のご招待も準備しています。

「ウェルビーイング」という取り組みが、職場や社会の中で注目されています。これは、個人の心身と社会が共に良い状態を意味する事です。西高東京同窓会も42回も継続して行われている事は、昭和58年に開催された第1回総会に参加した私として感慨深いものがあります。このことは正しく本会が「ウェルビーイング」の証ではないでしょうか。「来て良かった!」という総会になるよう仲間たちと取り組んでいますので、よろしく!

海を渡った西高生! PART2

旭川西高東京同窓会会長
(30期)

渡辺雅樹



全国でご活躍中の旭川西高出身者の皆様! お元気ですか!

私は仕事柄多くの人たちと出会います。その中には、その話し方で「この人は北海道出身ではないか?」と思う人たちがいます。そして、一度だけ、一人だけ「この人は旭川出身ではないか?」と思った方がいました。文章で表すには難しいですが、同郷出身者ならではの感覚でピンとききました。商談が終了して長い廊下を歩いているときに小声で「ひよつとすると旭川のご出身ではありませんか?」と尋ねると、「そうですが。」と答えます。私は思わず、「高校はどちら出身ですか?」と尋ねました。

彼は北高出身でした。

その後、この仕事は順調に進展しました。このようなケースはめったにあることではありませんが、同郷出身であるということだけで親密になることが可能なのです。彼も海を渡った旭川の出身者でした。このように全国には同郷の出身者が存在するのです。そんな彼ら彼女らに邂逅することの喜びは言葉に表すことができません。

旭川西高東京同窓会は、皆様の人生にちよつとした「うるおい」を得ることができるよう活動をこれからも行っていければいいかな、と思っています。

第42回西高東京同窓会にあたって



第42回旭川西高 東京同窓会にあたって

旭川西高等学校長

津嶋 拓慈



今年も「研学」「高邁」「澁刺」なる諸先輩の皆様がここに集い、それぞれの三年春秋を回顧しながら、共に故郷旭川に想いを馳せる機会に同席させていただきますこと、感謝申し上げます。同窓の皆様がこの豊かな社会の風景を支え続けながら、後輩たちに温かい応援をいただいておりますことにも改めて敬意を表させていただきます。私自身は、昨年40年ぶりに故郷旭川に戻り、この1年間存分にその魅力を体感しながら、西高生の頑張りに元気をもらっているところです。西高生の今年の進路状況は、北大をはじめ国公立大学に125名(全体の61%)が合格。地域の割合は市内

約30%、道内約45%、道外約25%となり、ここ首都圏にも多くの卒業生が進学し、自立を目指し生活しています。

また、SSHは今年Ⅲ期完成年、次年度のⅣ期指定を目指す計画年となり、更に科学的創造力のある人材や地域の発展に資する実行力のある人材の育成を目指して、チャレンジの1年となります。

同窓会の皆様には、今後とも若い同窓生や後輩達に変わらぬご支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

旭川西高東京同窓会に 寄せて

旭川西高同窓会会長

世木澤実



皆さん、こんにちは！同窓会長の世木澤です。今年も美味しいお酒が飲める

のを楽しみにしております。今年のテーマは「継続 再び」とお聞きしました。

昨年、札幌同窓会が5年ぶりに開催されました。私も出席させて頂き楽しい時間を過ごさせて頂きました。役員の皆さんも若い期に代替わりして斬新な発想のもと楽しい同窓会でした。今後も3つの同窓会が連携して、仲良く運営出来ればと考えております。

西高PTA会長時代、いかに同窓会を毎年開催する高校が少ないか。複数の場所で開催が困難であるか。身に染みると共に母校が誇らしく思える幸せを感じました。

3年後には西高は120周年を迎えます。周年事業も継続することが大切だと考えております。皆さんのご協力を切望しております。

では、10月4日上野でお会いしましょう。

第41回旭川西高 東京同窓会開催を 振り返って

第41回旭川西高東京同窓会
実行委員長(25期)

高瀬 一嘉



東京同窓会の皆様、41回同窓会総会にご参加いただき、ありがとうございました。

恩師としてお招きした小林茂先生(保健体育)と卯城祐司先生(英語)から当時の懐かしい思い出などをお聞きし、また、イベントとして、江戸家まねき猫さん(動物ものまね)

の独演会も開催させていただきました。メインテーマでもある「笑顔がはじけるサイコーの宴」になったのではとひそかに自負しています。

早いもので、母校を卒業してから半世紀が過ぎようとしています。学校祭の準備と称して授業を抜け出し、石狩川の堤防に集まっていたところを見つかり、こっぴどく叱られたことなど、恥ずかしい思い出を含め、当時のことや近況を肩ひじ張らずに語り合える同窓会、同窓生との繋がりを今後も大切にしていきたいと思っております。

42回の同窓会総会の成功を心から祈念しています。

令和6年度旭川西高東京同窓会会計報告 (令和6年5月1日～令和7年4月30日)

令和7年5月30日

<収入の部>	実算	前年度実算	前年比%
・前年度繰越金	2,472,203	2,851,807	
・年会費	493,000	522,000	94.44%
(当日分)	144,000	175,000	
(振込分)	349,000	347,000	
・その他	108,629	88,323	122.99%
(総会剰余金)	97,629	86,323	
(雑収入)	11,000	2,000	
計	3,073,832	3,462,130	
<支出の部>			
・総会費	80,000	80,770	
・西高通信他送料	167,940	166,818	
・通信費	7,960	5,211	152.75%
・印刷・事務用品費	42,222	43,890	
・会費費	21,500	66,950	
・ウェブサイト維持費	154,800	151,604	102.11%
・慶弔費	22,090	100,737	
・若年期対策費	77,053	77,362	
・その他雑費	21,516	296,585	7.25%
計	595,081	989,927	
残高	2,478,751	2,472,203	

<監査報告>

報告は、証憑書類と照合・精査の結果、正確なことを確認いたしました。

旭川西高東京同窓会
監事 小林 信雄(21期)



東京での再会を楽しみに

(昭46〜昭56英語)

市川 元則先生



楽しみにしています。

英語教師として赴任したのは、1965年の春で、担任は理科コース、理数科が多く、血気盛んであったせいか、よく先生には怒られたと卒業生から聞かされたものです。

旭川西高東京同窓会第42回総会への招待、本当に感謝しています。今回で2回目になりますが、皆様と再会できることを

部活は、英語部、ボランティア活動を中心としたインターアクトクラブを担当しました。学校祭での英語劇の上演、夏休みの合宿、研修で多くの卒業生が参加し、盛り上がったことは鮮明に思い出すことができます。

西高勤務後、道庁の知事室、国際課に4年間勤務した後、管理職の道を歩んだため、西高での10年間は貴重な経験でした。

退職後も英語部の卒業生と交流が続いており、現在、グアムで活躍している伊藤敏江さんから、7月に来日し、交流会を開催するとの連絡をいただき、楽しみにしているところです。

最後に、皆さんと東京での再会を楽しみにしています。元気で会いましょう。

旭川西高東京同窓会に寄せて

(昭57〜平19英語)

近藤 幸雄先生



1982(昭和57)年、私は12年間勤めた留辺蘂高校から旭川西高校に異動しました。2007

(平成19)年3月に退職するまで西高に25年間在籍し、藤木校長から伊藤校長まで11名の校長先生に仕えてきました。

長い期間勤めた職場なので、お世話になった方は教職員だけでなく、保護者(P

TA)や同窓会の役員の皆さんなど数え切れません。そして、英語教師として多くの生徒と共に、私自身学ぶことができたことは喜びでもありました。

卒業担任として4回卒業生を送り出しましたが、部活動や西高祭、旭岳登山などで仲間意識を育み、社会に出て西高生が活躍されていることを嬉しく思っています。毛利校長の時、宇宙飛行士毛利衛さんを招いての講演、新校舎落成記念式典での池田敏美さん(11期)のヴァイオリン演奏などの思い出もあります。旭川西高の益々の発展と同窓生皆さまのご健康とご多幸を祈念しております。

QRコードによる出欠登録の方法

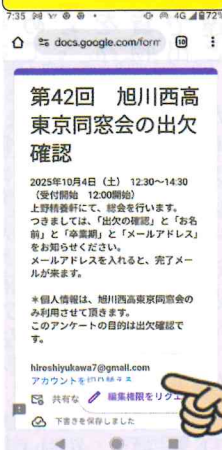
① QRコードの読み取り

総会の出欠登録

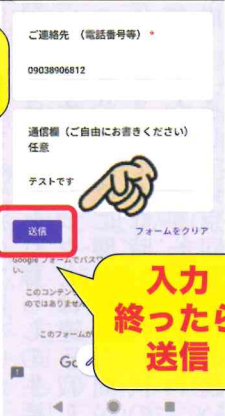


QRコードで登録してみましょう!

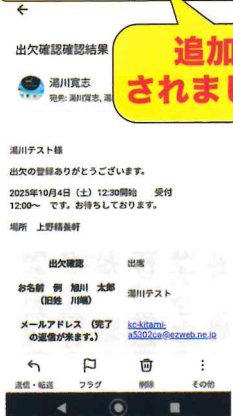
② 出欠登録の画面



③ 出欠、氏名メールアドレス入力



④ メールアドレスに返信が来る



追加されました

入力終わったら送信

スマホでかんたん登録!

ビートルズの魅力を伝えて四半世紀

2025年3月22日の北海道新聞に「ビートルズ伝え25年番組が幕」の見出しの記事が掲載されました。旭川市のコミュニティFM放送局において、24期卒業生の久保村正規さんが25年にわたりパーソナリティをつとめられた音楽番組が最終回を迎えるという記事でした。記事によりまずと、同番組は「ビートルズの曲を流し、歌詞を和訳して解説。作曲当時のビートルズのエピソードなどを紹介する。ゲストと地元の話話を語り合うほか、同じく英国のロックバンド、ローリング・ストーンズなどの曲をかける時もある。」ということであり、ビートルズなどの魅力がたっぷり伝えられた番組だったことがうかがえます。

そこで、久保村さんにビートルズや番組への思いなどについて寄稿をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。



あさひかわ西高通信 に寄せて：

久保村 正規（24期）



旧々校舎を知っている最後の24期、理数科、久保村正規です。

旭川西高東京同窓会には

仕事の関係から出席した事はないのですが、今回ご指名いただき投稿させていただきます。

私は旭川でアマチュアバンドを演っていた事で地元コミュニティ放送局「FMりべる」の依頼から、キリンビール提供「ゲットバック・ザ・Beatles」のラジオ番組

組のパーソナリティ「John 久保村」で25年、毎週で1,270回の放送を担当させていただきました。

スポンサーのキリンビールの撤退から、この3月に卒業させていただきましたが、公共電波を預からせていただいた事で、番組と並行してボランティアイベントを50以上企画、その都度募金活動を協力いただき、ユニセフ、東日本大震災や地元「旭川子ども基金」、「旭川育児院」と浄財を寄付させていただくことを続けられました。

自分も日中にボランティア企画、営業をする為に、23年前から夜の仕事にシフトチェンジして、地元旭川でライブバー「RUBBER SOUL」を経営して頑張っています。

西高OBを始め、旭川の皆さんのお陰です。この場をお借りしてお礼をいたします。また、帰省の節はいろいろお話も出来ますのでお立ち寄り下さいね！

各期から

高二の夏

小林 信雄（21期）



五十六年前、僕は白谷の海岸にいた。高二の夏であつた。

西高に入学と同時に美術部に入部、デッサンと油絵を描く毎日を送っていたが、二年の夏、クラスの友人に誘われて、友人とだけで行く初めての海水浴に出かけたのだった。別荘で吹奏楽部の合宿を冷

やかし、留萌でソビエトの貨物船でのティータム、中歌で出会った富良野の高校生と友達となり、伴って白谷へと移動した。この時の人との出会いや友との交流などが、それまでの自分を変えさせたように思う。

二期からは、部活の延長で市内の画家や画廊との交流や、展示会開催の企画、生徒会活動への参加、修学旅行ではたくさんさんの想い出を残した。

当時の西高にはこの時期になるとそこそこにカップルが出来た、（今でもその習慣が残っていますか？）高一の頃はそんな先輩がうらやましく思

ったものだ。

そして自分にも大切な友が出来た。なんでも語り合い、成長させてくれた。

進学の間を選び、受験勉強、上京して下宿と大学との往復の生活が始まった。

東京同窓会の会員の多くがそうであつたのではないかと、思うが、ひとり暮らしの生活にホームシックとは違う寂しさや孤独感に襲われる瞬間がある。そんな時、高校時代の友からの手紙に助けられた。そして東京同窓会への誘いが届いた。

四十年近く前である。八期の佐々木一さんの熱心な誘いがあり、思い切つて虎ノ門の横峯会長を訪ねた。

十一期の島さんが実行委員長をされたときには五期繋がりとということで、僕らの二期のメンバーに声をかける。皆快く参加してくれた。今も多くの仲間とラインで繋がっている。

たつた三年間、西高生であつたことが、様々な出来事や出会いを生み、今も先輩や後輩、そして同期の仲間との強い絆を作っている。

今思うとあの夏、白谷の海岸に立っていた事が今の人生の出発点であつたように思われる。

ポルトガルに憧れて

村本和靖（26期）

頭に「ポ」がつくだけでポーランドに間違えられる国、ポルトガルに行ってきました。

ポルトガル語で「港」を意味する「ポルト」は、北部のドウロ川の河口に広がる美しい町で、リスボンにつぐポルトガル第二の都市です。

西高の理数科を卒業し、建築士の道を歩み始めて49年、やはり美しい街並みをこの眼で見たいという欲求は留まることを知りません。ドウロ川に架かるポルトのシンボル、「ドン・ルイス橋」は19世紀に建設された幅8mの

2階建て構造の橋で、歩行者も通行できます。ここからの眺めは、ドウロ川や世界遺産のポルト旧市街を見下ろす絶景です。

オブシヨナルツアーがメッチャ少ないのですが、民俗歌謡「ファド」を聴きながらのデイナーやオビドス、シントラ、ロカ岬（ユーラシア大陸最西端）ツアーは絶対外せないかと。ちなみに、オブシヨナルツアーは2つとも参加者は私達2人だけでした。なので、移動車両はバスではなくメルセデスのCクラスでした。ウケる。



31期の思い出

淵田清美（31期）

第32回西高東京同窓会（2014年）は、31期が初めて実行期となり、8名のメンバーで企画運営しました。

当日は旭川からも同期の応援団が駆け付け、盛大に終わることが出来ました。

同窓会后、招待恩師の水谷先生も交えて浅草へ移動、同期会も盛り上がり皆で浅草宿泊、翌日浅草寺など散策、墨田川下りと2日間たっぷり楽しみました。

2度目の修学旅行でした。

50歳を過ぎた大人になっても、高校時代そのままに楽しい時を共有したなあ、と還暦を過ぎた今も思い出す大切な思い出です。

31期の人数は少ないですが、旭川から同期が上京すると集まったり、都内でジンギスカンの食べ比べを企画したりしていました。最近はやっとご無沙汰なのでまたそんな機会を是非作りたいですね。これからもよろしく！楽しみましょう。



36期を代表しまして

西 俊輔（36期）



皆さま、こんにちは。36期の西です。

36期が同窓会の実行委員をさせていただいたのが2019年でしたが、あれからもう6年も経つのかと、時の流れの早さに驚いています。今回は私たちの期が同窓会の支援期ということだったので、実際ににはなかなかお手伝いできず、当番期の方々にはご迷惑をおかけしていることを大変申し訳なく思っております。

私が同窓会へ出席するようになってから、まだ10年ほどしか経っていないのですが、ここで知り合った方々の中には、同窓会以外の場所でも食事を一緒にするようになった方々もいますし、先日旭川のOB・OGの方から、「〇〇さんを探しているんだけど連絡先を知らない？」というお願いをされ、東京同窓会で知り合った方を通じて探し当てることができ、やはり同窓会はありがたいと再認識いたしました。

西高東京同窓会が今後もますます発展することを願っております。

各方面の活動

「すずらん塾」の報告

渡辺 雅樹 (30期)



2025年1月31日旭川西高体育館にて「すずらん塾」が開催されました。

本年度の講師は横澤祥子さん(25期)です。横澤さんは西高在学中から国際線のキャビンアテンダント(以下「CA」といいます。)になることを目標にして努力を重ねてきた方です。

きっかけは兼高かおるさんのテレビ番組「世界の旅」でした。この



横澤祥子さん(25期)

番組に魅せられた横澤さんは世界各地を飛び回るCAに就きたいと考えるようになりました。その途中には回り道もありましたが、遂に夢をかなえ全日空の国際線のCAとなります。

横澤さんを支えたものは、3つのPと一つのCでした。

Pasion(情熱)、Positive(積極性)、Persistence(粘り強さ)、Challenge(挑戦)の精神でした。たとえ回り道があったとしても、これらの言葉を励みとして忍耐強く努力した、ということ、学生達に強く訴えました。

講演会の後は、場所を他の教室に移して希望者16名が集まって更に突っ込んだ質問に応えました。「どのように英語を学んだか?」「どのような学歴がCAに

なるためには有利か?」等々かなり具体的な質問が寄せられました。横澤さんの思いが、今の西高生達の将来設計の一助になることを確信しています。



東京旭川会との連携を宜しく願います

東京旭川会会長 荒川 繁 (20期)



皆さん、お元気ですか? 東京旭川会の荒川です。

今年で丁度55年になります。母校西高への思いと、ふるさと旭川に対する想いが、私達の身体に宿っていると思います。皆さんもきつと同じ想いだと思っています。

皆さんのおかげで、東京旭川会の会長となり、今、ふるさと旭川に何ができるのか? 何をしたら良いのか? 試行錯誤の毎日です。

旭川愛だけでは解決出来ない事ばかりですが、ここは地道に一步一步進んで行きたいと思っています。少しずつですが、小さな変化が、年が経つと大きな変化になっていることは多々あります。それを信じてこの職を全うしたいと思っています。ジャンルを問いませんので、皆さんからのご意見、ご希望を頂きたい思います。

今後とも皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

ひがしかわ東京会

(東川町出身者及び東川町にゆかりのある人たちの親睦団体)

TEAM NACSの森崎博之さん(40期)は東川町出身です

荒 富 夫 (20期)

〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間644-8
090(8742)6488

入会費で出会える おしゃれな一品 デザイン工房

手づくり工房 & ギャラリー

デザイン工房 松田 広昭

20期 松田 広昭

TEL 090-4028-5241

E-mail: matsuda-h@za3.so-net.ne.jp

URL: http://www.design-subaru.com

山梨県北杜市大泉町西井出 8240-1

東京浅草 お参りしやすい

永代供養墓

真宗大谷派 勝龍山 等寛寺

東京都台東区元浅草 2-10-17

03-3841-2844

浅草 永代供養墓 Q検索

荒川 繁 (20期) 在住のお寺

宮川博行税理士事務所

税理士 宮川 博行
(26期)

〒160-0004

東京都新宿区四谷三丁目9番地18
慶和ビル501号室

ATTA タンパク質分析や遺伝子発現計測
各種機器試薬の開発製造販売

21期 久保田 英博 (理数科1期)

Life Scienceの研究支援試薬の開発に興味のある方募集中

アトー株式会社

ATTA

〒111-0045 東京都台東区東上野3-2-2 TEL 03-5827-4001 FAX 03-5827-4007

〒100-0004 東京都千代田区千代田1-1 TEL 03-4336-1421 FAX 03-4336-0025

URL: http://www.atto.co.jp e-mail: info@atto.co.jp

i-vision

みち

あなたの進む人生、共に歩む

フィナンシャルアドバイザー・保険代理業

アイ・ヴィジョン株式会社 中山 恵夫 (21期)

東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル27階



鷺尾税理士事務所

税理士 鷺尾 元成

〒133-0051

東京都江戸川区北小岩6-37-9-201

電話 03 (5876) 8472

FAX 03 (5876) 8473

携帯電話 090-7733-9838

五野精養軒

since 1872

TEL 03-3821-2181 (代)

TEL 03-3821-2181 (代)

写真・ビデオ・撮影・編集・デザイン

ヨコタ・フォト

代表 近藤 光 則

東京都北区西が丘

to be continued

26期 理数科 昭和51年卒



最短10分で解決の

スーツケース修理サービス

<https://repair-suitcase.com/>

オールシャッターサービス

ALL SHUTTER SERVICE

<https://all-shutter.com/shutter-repair/>

本社 〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町13-7-311

TEL: 0120-963-581

FAX: 050-1704-1928

経済産業省認定 経営革新等支援機関

ふたば税理士法人

営業時間 平日 9:00 ~ 17:00

0120-978-028

東京事務所 〒104-0061 東京都中央区銀座8-9-15
銀座ミノリビル6階
Tel. (03) 6205-4655

王子事務所 〒114-0001 東京都北区東十条4-5-14
キャピタルライフ東十条104
Tel. (03) 3919-8847

湘南事務所 〒254-0812 神奈川県平塚市松屋町1番19号
Tel. (0463) 21-2494

ふたば税理士法人 Q <https://futaba-tax.co.jp>

新子焼き 旭川名物

●新子焼き (3個入り)
...6,900円(税込)

親子2代 西高卒です

ぎんねこのギフト

●ちゃっぷ焼き (2袋4食入り)
...2,950円(税込)

焼鳥 ぎんねこ

北海道旭川市5条通7丁目5-7 小路ふらりと
営業時間: 13:00 ~ 22:00 定休日: 月曜日

090-8904-9992 (久保)

<http://ginneko.co.jp> webからぎんねこの最新情報をゲット

年会費振込みのお願い

本年10月4日に旭川西高東京同窓会は第42回総会を開催いたします。秋の行楽シーズン真っ只中ではございますが、会場となる上野精養軒の近隣には博物館、美術館等が点在しており、そちらにも足を向けていただくことも一興かと存じます。皆様のご参加をお待ちしております。

さて、執行部では「西高通信」を会員の皆様にお届けしております。また、母校の現役生に対しては「ずらん塾」を開催し、経験豊かな同窓会員様から毎年有益な講話を頂いております。更には、顕著な実績を残した生徒達を表彰する「リンケージアワード」も実施しております。

これらの活動を通じて、母校への貢献になつていくと確信しております。それらの原資となるのが、会員の皆様からお預かりする年会費です。総会にご出席、ご欠席に拘わらず皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。年会費以外のご寄付も歓迎いたします。

旭川西高東京同窓会

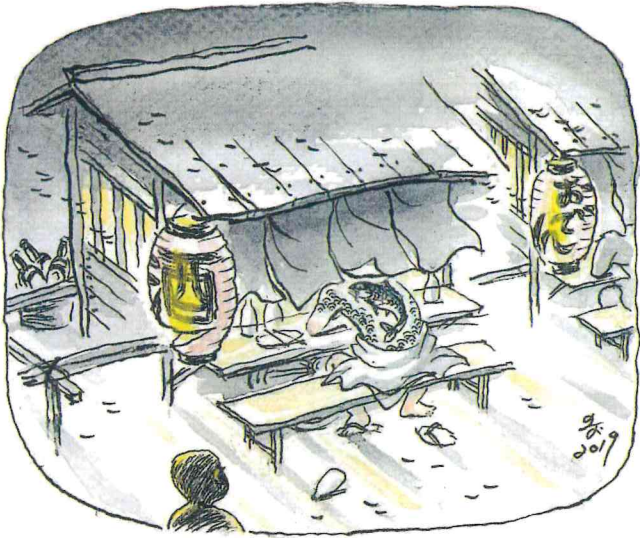
会長 渡辺 雅樹

ただ、ひたすらに――

こんな時代がくるとは、当時思わなかった。

「絵で食べてゆくのは、むずかしいぞ」と西高美術部顧問の山口信太郎先生がおっしゃった。

西高蹴球部に三年間どっぷり浸かり、進学コースを決めるとき、美術部の生徒は誰ひとり受験しないのに、ただひとり東京の美術学校（当時、まだ大学とは言ってな



かった）へ受験すると言ったので山口先生はびっくりしたと云う。でも顔は笑っておられ、新制西高になって初の美校受験生だと云われた。そして東京在住の恩師へ紹介状まで書いてくださった。

母は、子供の頃から体が弱かったボクの東京でのひとり暮らしに不安を抱いていたが、父が賛同してくれた。

時計屋の父が、美校入学が決まった夜、向かいの鮎屋へはじめて連れて行ってくれた。

いっぱしの男同士になったつもりだったのか、父に「どうして時計屋になったのか」と初めて聞いた。

父は「本当はオレも美術島へゆきたかった。しかし、当時祖父と一緒に渡道したが、祖父の苦勞を見てそんなことは口に出せず、文明開化

の職業のひとつだった時計屋になったのさ」と笑いながら自嘲気味に話してくれた。

自分は好きな道へ行けなかった。せめて息子には、との親心をしめじみ感じた夜だった。

しかし、美校へ入学してすぐ思った。

家は代々画家の家系だとか、子供の頃から有名画家のアトリエへ通っていたとか、育った環境も、一地方都市旭川の、商売屋の子として育ったボクには、まばゆいばかりの生徒たちだった。

だいたいが国民学校一年生の頃より、戦地の兵隊さんたちに送る慰問袋に入れる絵を描かされ、ボクの絵が毎回のよう学校に廊下に飾られ、先生に褒められ、生徒たちにも一目おかれ喜ばれた。

幼心に、こんなにみんな喜んでくれる「絵描きになりたい」と思った。

その後も、歳の近い旭中の叔父からゆずられた少年倶楽部。毎号載った挿絵画家たち、吉川英治著「神州天馬俠」の山口将吉郎、大佛次郎著「角兵衛獅子」の伊藤彦造、佐藤紅緑著「あゝ玉杯に花受けて」の斎藤五百枝、山中峯太郎著「敵中横断三百里」の梶島勝一、まだある、江戸川乱歩著「怪人二十面相」の梁川剛一、高垣眸著「怪傑黒頭巾」伊藤幾久造……きりがなく思い出すだけに懐かし、絵のタッチさえ覚えてい

る。こんなに人をして忘れられない魅力ある絵を描きたい、と思った。だから、本格画家タブローの世界への未練はなかった。

現代と違つて絵では食べられない、と世間から言われていた証拠に、同じ食べられない世のはぐれ物、一匹狼のヤクザなどのアウトローたちに、同病相哀れむと思われていたのかやけに親切にしてもらった覚えがある。

思い出す、敗戦直後、国民学校（小学校）生だったぼくの家へ、親しくしていた奥さんが訪れ、敗戦で荒廃した世の中を良くしようというボランテア「美風会」へ、いい子なので入ってほしいと云われ、わが子を褒められ気を良くしたのか母はボクを入れてしまった。

何をしたのか思い出せないが、早朝のラジオ体操参加者に出席印を押したり、町の清掃や夜グループで提灯をぶら下げ、「火の用心」と大声で町内を回ったのは覚えてる。

リーダーは二十歳すぎか、長身痩躯、眼光鋭い風貌のお兄さん。

お兄さんと呼ぶわけは、

「君たちは、これからのニッポンを背負って立つ少年だ。清く正しく生きろ」といつも訓示し、ひとりひとりの将来を云わせ、ボクが絵描きになりたい、と云ったら喜んで

「ただひたすらに励みなさい」

とおもいのほか可愛がつてくれた。

或る晩、映画が跳ねて帰り道、ずらつと並んだ闇市の屋台から、声高にぼやいているお兄さんの声が聞こえた。

声をかけようとしたが、大きな鯉の入墨がみえ、びつくりしてそのまま帰った。

清く正しくのお兄さんはヤクザだったのか。

今にして思う。

堅気もともに食べられなかった時代、ヤクザ渡世も大変な時代だったのだろう。

その夜「美風会」はどうなったのか覚えがない。

若き日、人生には多くの十字路口にさしかかるが、右か左かと迷わずにただひたすら絵を描いてゆきたい、と細い細い道を真直ぐに歩いてきた。

それを神様が哀れんで、この歳まで幸せに続けさせてくれたのだろう。

今、唐突に映画「嘆きの天使」以来ファンだった女優マレエネ・デイトリツヒの歌が蘇る。

望みは何かと訊かれたら幸せ、と答えはするがすぐ昔が懐かしくなるだろうあんなに素晴らしく不幸だった昔が……